

読むこと 書くこと 訳すこと

コリーヌ・アトラン氏は1990年代から日本文学の仏訳者として活動を始め、鷗外・漱石から村上春樹、村上龍、辻仁成、平野啓一郎、是枝裕和まで、60点以上の作品を出版した著名なフランス人翻訳家です。また数年前に京都に居を構えて以来、翻訳だけでなく、自らも小説や、日本文化に関するエッセイを出版するなど活動の幅を広げています。本講演会は、彼女にとっての初めての試みとして、全て日本語で行われます。通訳なしに日仏の両文化に通じたこの翻訳家・作家の生の声に触れられるまたとない機会です。多くの方々のご来場をお待ちいたします。



日時

2019年5月23日(木)
13:20~14:50

講師

コリーヌ・アトラン *Corinne Atlan*

作家、翻訳家 *auteur et traductrice*

Profile

1976年パリのINALCOで日本語学修士課程を卒業、その後ネーデルのカタマンズ、東京、京都、名古屋などで仏語教師をつとめた後、1990年代はじめにフランスに帰国、以降文芸翻訳家として活躍を続ける。代表作に、辻仁成『海峡の光』、『白仏』、村上龍『コインロッカー・ベイビーズ』、『ラッフルズ・ホテル』、村上春樹『世界の終わり』とハードボイルドワンダーランド』、『ダンス、ダンス、ダンス』、『海辺のカフカ』、『眠り』、平野啓一郎『一月物語』、『最後の变身』、『空白を満たしなさい』。小説『暁の僧院』(2006)、『鏡を持つ騎兵』(2014)また、エッセイ『金剛舞』(2002)、『二つの世界の間』(2005)、『京都の秋』(2018) (全て仏語・未訳)も執筆している。

会場

名古屋外国語大学 7号館 701教室

対象

フランス語学科生、名古屋外国語大学生、教員、大学院生、留学生、名古屋学芸大学生、一般市民

主催

名古屋外国語大学フランス語学科

後援

ワールドリベラルアーツセンター

申込不要
参加無料

どなたでも
参加できます

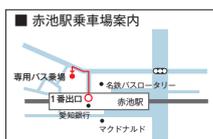
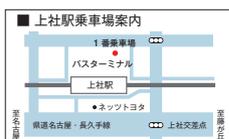


使用言語 日本語

■本学へのアクセスについて■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。

専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



問合せ先

電話での本学へのお問い合わせ

名古屋外国語大学 0561-74-1111(代)
470-0197愛知県日進市岩崎町竹ノ山57



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますようお願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。